

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報(月報)

12月

2024/12/1 ~ 2024/12/31

1. 患者報告数

疾病名	総数		男		女	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
性器クラミジア	3	19	2	4	1	15
性器ヘルペスウイルス	5	9	0	0	5	9
尖圭コンジローム	1	5	0	3	1	2
淋菌	0	8	0	5	0	3

2. 定点あたり報告数

疾病名	中部	沖縄県	全国
性器クラミジア	0.75	1.58	2.13
性器ヘルペスウイルス	1.25	0.75	0.86
尖圭コンジローム	0.25	0.42	0.51
淋菌	0	0.67	0.69

※中部保健所管内 STD定点医療機関内訳

- ・泌尿器科・・・2医療機関
- ・産婦人科・・・2医療機関

計:4医療機関



※「**定点あたり報告数**」とは・・・1医療機関あたりの平均患者報告数



※**年齢別報告数や過去5年間の報告数の推移等は、「沖縄県感染症情報センター ホームページ」に掲載しています。**

詳しくは**こちら(沖縄県感染症情報センター)**をご覧ください。

3. 性感染症の主な症状について

疾患名	主な症状
性器クラミジア	(男性) 排尿痛、尿道不快感、かゆみなどの症状がみられる。 (女性) 自覚症状に乏しいことが多い。子宮頸管炎、不妊などにつながることもある。
性器ヘルペス	外陰部の不快感、かゆみ等の症状の後、発熱、全身倦怠感、リンパ節の腫れ、強い痛み等を伴って、潰瘍や水疱が出現する。女性では排尿困難や歩行困難のため、入院加療を余儀なくされることもある。一度感染すると、ウイルスが潜伏し、再発することが多い。
尖圭コンジローム	性器・肛門周辺にとがったイボのようなものができ、おりものの増加やかゆみ、痛みを伴うことがある。
淋菌	(男性) 急性尿道炎として発症し、膿などの分泌物や排尿時の痛みを伴う。 (女性) 子宮頸管炎として発症するが、自覚症状のない場合が多い。不妊につながることもある。

※**気になる症状がある場合は、医療機関(男性は泌尿器科・女性は産婦人科)へご相談ください。**